



### 概要：

- バイリンガルコース6e学年（中等教育科の1年生、日本の小学6年）到達を迎えた  
2013年度新学期の状況報告
- 試験申し込み：Attestations de recensement（国勢調査証明書）が申し込みの際に必要なので注意する事
- 教育プロジェクトと2013-14年度の修学旅行（3つの修学旅行が予定されている）の紹介
- 新しい学校全体の教育プロジェクトの為のアンケートの内容の紹介と内容の討論
- 保護者からの質問に対する応答

### 参加者：

役員会代表： M. Marchand (Proviseur-Adjoint), M. Jublot (CPE)

職員代表： Mme Chica (professeur d'Espagnol), M. Messin (professeur d'Histoire-Géographie)

生徒代表： M. Nicolas Rigaudy

保護者代表 (FLT) \*： Christine Blin, Laurence Rigaudy

\* FLTは11月28日の評議会において正式に、2つの会が統合した新しい保護者会として命名されました。よって、それ以前のリセの公式議事録の中ではAFまたはAPE代表者として記されています。

### 2013年5月28日の会議の議事録の承認

保護者代表が次の詳細を議事録の中に加えることを要求：「ある保護者代表が、もしも昨年のように、バカロレア試験の外国語オーラル試験と、バカロレア模擬試験が重なって行われる場合、その旨を明瞭に説明するメールが最終学年の保護者にむけて送られるべきである」と要求している」（昨年、バカロレアの模擬試験と本試験において保護者の間で混乱が生じた事があった為）。

AF-fcpe からの質問1点も同時に加えられることも述べられました。

議事録は満場一致で採択されました。

### CSD（中・高等部評議会）定款の採択

昨年度からの変更なしで、議事録は満場一致で採択されました。

### 2013年度新学期試験と申し込みのスケジュールについて

☑ 授業開始：最終的にseconde（高等教育科の1年、日本の高校1年）が2クラスと、6e学年（中等教育科の1年、日本の小学6年）が4クラス開かれました。

- ☑ バイリンガルクラスの6e学年到達：生徒たちは6e学年の4クラスに進みました。編入希望の生徒13人は、レベルチェックのテストを受け、うち4人がバイリンガルグループに編入しました。
- ☑ 生徒数：940人中、中・高等教育科は410人（6e学年から最終学年まで）
- ☑ 試験：バカロレア試験の申し込みが終了。先行の試験（1e学年の末に受験）の申し込みは11月29日に締切られます。
- ☑ Attestations de recensement（国勢調査証明書）：バカロレア試験を受ける際に必ず必要なので注意。  
 新入生は、もし出身国で証明書を受け取っていないければ、近日中に領事館で調査を受けなければなりません。（子供が市（区町村）役所で調査をされていれば、証明書は16歳3か月から受けとることができます。）  
 保護者代表は入学時に保護者に通知するよう求めました。
- ☑ La journée de Défense Citoyenneté（JDC）は義務であり、1e学年もしくは最終学年（17歳）の生徒達の為に在日フランス軍の司令長官によって行われます。バカロレアを取得することが義務付けられています。  
 2013年12月12日に行われます。

#### 2013-14年度の教育プロジェクトと遠足の説明

- ☑ 全てのプロジェクトのリストは[こちら](#)に掲載されています。
- ☑ 新プロジェクト：文学カフェ（高校生）と読書クラブ（6e学年）はうまく機能しています。
- ☑ LFITの指導部は、周辺高校とのつながりを樹立しようと試みますが、活動は学年ごとに行っていくのが好ましいです。（たとえば、すべての4e学年が一緒にというように）よって、時間割の違いなどにより、LFITには難しいです。
- ☑ 本年度予定されている修学旅行：
  - ヨーロッパセクション（1e学年の生徒）シンガポール行き、2014年3月14日から22日まで（Ms Mastalski et Messin）  
 20名の生徒がアメリカ人家庭にホームステイします。  
 プログラムでは、午前中のシンガポールアメリカンスクールでの授業に加えて、ロードブックの制作とその挿絵に使う写真の撮影、シンガポール港観光と文制作が予定されています。
  - 上海におけるアジア-パシフィック圏の劇団員との交流、2014年4月17日から20日（M. Bergez）  
 演劇部の生徒達は上海のリセの家庭にホームステイします。  
 終日演劇活動
  - 広島平和記念館訪問（1e学年） 2014年5月12日と13日

シンガポール旅行と広島旅行の説明会が予定されています。一時的でも修学旅行への参加が経済的に困難な家庭を援助する、la caisse de solidarité（連帯基金）の重要性が想起されました。

## 2014-2017年度の学校教育プロジェクト

新しい学校教育プロジェクトの設置の為のアンケートが、保護者、生徒及び教師に配布されます。

アンケートは、教育プロジェクト同様、それぞれの機関の全ての関係者（教師、役員、保護者、生徒）によって見直されます。

アンケートは12月8日頃保護者に送られます。

中・高等教育科の全ての生徒は、同時間帯に担任の教師の助力のもとに(万が一質問があった場合) クラスでアンケートに記入をします。

保護者代表は2つのアンケート（保護者用と生徒用）においていくつかの指摘をします。

詳細がもたらされるべき：アンケートには看護師による業務も、CDI（資料情報センター）と初等教育の図書室にも関する質問がありません。なぜなら、これらの業務はたった一人によって受け持たれているからです。（当人への個人的な批判を防ぐため）

## FLTからの質問

1. 特に6e学年の保護者から、生徒の授業の合間の空き時間内に参加可能な課外活動（演劇、合唱、CDI、読書クラブ等）について、現実的で徹底した方法で情報提供してほしいと要望ができています。

活動を設置した教師が生徒に通知します。

現時点では、

- 火曜10時から11時の演劇（Mme Haddad, 6e学年の彼女の受け持ち生徒が対象）
- 木曜11時から12時の合唱（6e学年のバイリンガルクラス以外の生徒のみ対象、英語の強化クラスの間）
- 木曜10時から11時までの読書クラブ（月に1度）（現時点で6eと5e学年の生徒対象）
- 文学カフェ（月に1度）（高校生対象）
- 音楽と歌のクラブ（生徒の自主活動）：Club FSEは6e学年によって設立されましたが、すべての生徒に開かれています。

読書クラブと文学カフェは玄関ホールの掲示板に時間が掲示されます。

次回、概要が保護者当てに配布されます。

2. 保護者へのアンケートを通じて、学校はある種の ”顧客診断” もしくは ”ユーザー診断” をすることを望んでいる事がよく分かりました。LFITにおいて機能していること、そうでないことについて、会員から寄せられた情報と自分達の経験に基づいて、保護者の会として、私達にもいくつかの考えがあります。このアンケートについての会議を、数々の主題について扱われる公式機関以外で、CEでの承認の前に開くことは可能でしょうか？（会議の前にアンケートを受け取ることを、なぜなら代表者だけが学校評議会の際に受け取っているからです。）

より重要性を持たせる為、また全ての関係各所との意見交換の為に、全ての関係機関の通

過が義務付けられています。

3. LV2の1Sの時間割の中で、スペイン語の方がドイツ語よりも多いのはなぜですか？  
実際にスペイン語は30分多いです。ドイツ語の生徒は4人の少人数となっており、その結果少し時間が短くなっています。
4. 次回の外国語コースの委員会はいつ予定されていますか？全ての参加者と、日本語LV1bisのクラスについていくレベルに達しておらず、しかしながらJLE avancé のクラスとは明らかに差がある日本語コースの生徒における問題の解決策を講じるべく、特別に会議を設けることは可能でしょうか？  
唯一の解決策は、新しい日本語のグループを増やす事でしょう。現時点ではそれは不可能です（グループ数、教師の数等により、、、）。
5. RIPP（保護者と各教員との個別の面談会）の際、最近の尽力にもかかわらず、全ての教師、特に主要分野の教師と面談することが大変難しいです。seconde学年、1e学年、最終学年が同じ日になるのを避けるために、もう一日増やす事は可能でしょうか？  
毎回授業が潰れてしまうため、もう一晚増やす事は不可能です。  
よりふさわしいクラス分配が検討されうるでしょう。（seconde学年は他の日にする。）
6. 修学旅行について：la caisse de solidarité（連帯基金）が利用可能な旨を伝えると共に（援助の申込書を一緒に配布する等）、各自のクラスに関わる旅行についてより詳しい情報を保護者に配布することは可能でしょうか？  
説明会が予定されています。2014年の2月にla caisse de solidarité（連帯基金）の会議が予定されています。  
修学旅行担当の教師によって準備される参加申込書の中に、連帯基金の利用を提案する一文が加えられます。